

No.140  
平成25年3月1日

議会広報

# いえん



▲西小学校校舎・西幼稚園園舎落成式典・祝賀会で村歌及び校歌を斉唱する園児・児童

- 一般質問..... 2~5
- 議決の結果..... 6
- 伊江村議会研修・視察報告..... 7
- 議会の活動..... 8

いえん No.140  
平成25年3月1日  
議会広報

発行/伊江村議会  
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷/（有）サンエス  
TEL:098-889-7421

## 議会の活動

### 平成24年12月

- 1日: 北部広域市町村圏事務組合臨時会(議長)
- 2日: 伊江村子ども会発表会(全議員)
- 6日: 議会運営委員会、全員協議会、議会広報委員会
- 9日: 伊江村郷友会運動会(議長)
- 10日: 黒糖工場火入れ式(議長)
- 13~14日: 第8回12月定例議会
- 15日: 第7回ハイビスカス祭りオープニング(全議員)
- 20日: 沖縄タイムス新社屋落成パーティー(議長)
- 23日: 全国小中学生ゴルフ伊江島大会(議長)
- 26日: 玉城志志氏瑞宝双光章受章祝賀会(全議員)
- 27日: 北部市町村議長会理事会・総会(議長)



▲ハイビスカス祭りオープニング

### 平成25年1月

- 4日: 新年交歓会、成人式(議員)
- 6日: 伊江村消防出初め式(議員)
- 11日: JAおきなわ新春の集い(議長)
- 15日: 初セリ市(全議員)
- 16日: 観光関係挨拶回り(議長)
- 17日: 国・県の出先機関の長及び関係者との新年会(正副議長)
- 19日: 商工会新年会・受賞祝賀会(議長)
- 21日: 第21回暴力団追放沖縄県民大会(議長)
- 25日: 第1回臨時議会  
沖縄タイムス伊江島フェアテープカット(議長)
- 26日: 沖縄タイムス「伊江島の村踊り芸能フェスティバル」(全議員)
- 27日: 伊江小学校学芸会(伊江小校区議員)
- 27~28日: オスプレイ配備反対総理直訴・東京行動(議長)



▲初セリ市

### 平成25年2月

- 2日: 緑の育樹祭(議長)
- 3日: 西小学校学芸会(西小校区議員)
- 13日: 第42回定期総会(議長)
- 14日: 離島振興市町村定期総会及び議員研修(全議員)
- 15日: 町村議会議長会議員・職員研修会(全議員)
- 16日: ハイビスカス協会総会(議長)
- 17日: 平成24年度伊江中学校学力向上推進発表会(全議員)
- 19日: 西小学校校舎・西幼稚園園舎落成式典・祝賀会(全議員)
- 23日: JAファーマーズマーケット「伊江島特産品フェア」(議長)
- 25日: 中小企業課題解決・地域連携プロジェクト推進事業支援報告会(議長、副議長、総務常任委員長、経済・公営企業常任委員長)



▲沖縄県離島振興市町村議会議員研修会

### どうぞ 傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

### 伊江村議会HPで 最新情報を!

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。



<http://www.iejima.org/iegikai/>  
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)



問

県内外の企業やビジネスマンは、伊江村の環境を気にいつているが、インターネット環境、特に通信速度の遅さを懸念していると聞く。通信施設の充実、特に\*WiMAX(ワイマックス)による環境整備を進めることが今後の企業進出を含めた新規雇用の創出につながるかと考えるが、村当局としてワイマックスを含めた構想があるのか、現在の進行状況と村当局の考えをお聞きしたい。

平成24年度より、北部連携促進事業により、北部12市町村の庁舎間までを結ぶ光ファイバー施設計画があり、平成25年度は伊江村役場となっている。議員ご指摘のとおり、広いエリアで高速通信が可能な無線通信技術の新しい企画であるワイマックスの利便性や構築費、維持管理費が安価で村民のみならず、観光客やビジネスマンの利用を考えた場合、ワイマックスが今後の通信手段の主流になると考えられている。光ファイバー施設計画と同時期

伊江島空港は、現在定期便もなく閉鎖か存続か県庁内でも論議されているという情報もある。県の21世紀ビジョンにあるとおり、那覇空港の物流拠点形成を含め伊平屋空港建設等がある。伊江島空港も本空港との連携を含め、臨空・臨港型の産業形成を図るべきだと思ふ。伊江島空港を北部の臨空型物流拠点として位置づけはできないか。基地の跡地利用問題としても社会福祉施設や企業誘致、日本航空高校の件も含め他地域との差別化を図り、伊江村の人口減少に歯止めをかける一助になると思ふが、



名嘉 實議員

現在、真謝区と西崎区に1カ所づつ騒音測定器が設置されているが、測定結果は公表されていない。公表しないのか。⑤海を利用する人々のフェンス内立ち入り禁止について現在、フェンス内の訓練場は草刈りをする以外の人、例えば釣り等をする人は入ることが許可されない。沖縄県基地対策室発刊の沖縄の米軍基地によれば、伊江島補助飛行場の使用条件5:15メモ等より、合衆国政府は、第2水域における合衆国軍隊の試用期間中を除き、第1水域における漁業、貝の採取及び海藻の採取を制限しないとされている。

地域住民の騒音被害の負担軽減に向けて適切な対応をしていきたい。2点目、コーラル滑走路の使用は環境レビューと矛盾があることから、沖縄防衛局に確認の申し入れを行っている。現在、本省を通して米軍機関へ照会をしているが、まだ回答がない。オスプレイ訓練以後、コーラル滑走路での着陸訓練が34回実施され、粉塵巻き上げも確認されており、その実情を沖縄防衛局、沖縄県に対して報告し、関係機関へ申し上げるよう強く申し入れていきたい。

5点目、分遣隊によると、釣りをするという事で入場したが施設内の撮影等、管理運営上好ましくない行為があり、立ち入り規制措置をとらざるを得なかったと報告があった。分遣隊のライアン隊長が上層部と協議の上、12月8日から立ち入りができるようになった。

問

圧倒的多数の県民の配備反対にもかかわらず、日米両政府はM V I 22 オスプレイを強行配備し、訓練を開始した。配備の撤回を要求しつつ、これまでの訓練のあり方、その他の問題について質問する。

①夜間訓練について 嘉手納基地と普天間基地の騒音規制措置では、22時から翌日6時までの間、飛行及び地上での活動は米国の運用上の所要のために必要と考えられるものに制限される。ところが、伊江島でのオスプレイの夜間訓練は夜10時過ぎまで行われている。

練の中止を求めるときだと思ふ。

②コーラル滑走路への着陸について 環境レビューでは、M V I 22 中隊は着陸帯として、コーラル滑走路を使用しないことになっているが、頻りに離着陸を繰り返している。粉塵を巻き上げている。コーラル滑走路使用の中止を求めるときではないか。

③フェンス外での飛行について オスプレイはフェンス外での物資吊り下げ飛行訓練も確認されている。いつ墜落するかわからないオスプレイのフェンス外での飛行禁止を求めるときではないか。

④騒音測定公表について

答

1点目、本村にて10月30日と11月14日、午後10時以降の離陸を確認したと、報告を受けた。夜間訓練の運用については、機会あるごとに関係機関に申し入れ、沖縄防衛局に日米合同委員会での合意事項の厳守と、夜間の飛行訓練を自粛するよう強く申し入れている。今後

海を利用する人のフェンス内立ち入り禁止は、5・15メモに反する行為ではないか、お伺いする。

9月定例議会以後、助成策について検討されたか？

問

現在、村内に居住している障がい者の方や家族を対象にサービスの利用意向、要望等「障がい福祉に関するアンケート調査」を実施し、今後の福祉の向上に生かしたいと考えている。アンケートの結果を踏まえ、障がい者及びその家族の車輛航送料金の軽減方法や助成要綱の整備、公営企業課等関連機関との協議をすすめたい。

障がい者及びその家族の車両航送料金の助成について

福祉保健課長 軽減方法や助成要綱の整備、公営企業課等関連機関との協議をすすめたい

# 村政の 12月定例会一般質問

## 台風被害に対する 村の対応について



総務課長 伊江村小災害り災者見舞金も 検討している 島袋 義範 議員

**問** 今年は、例年になく強い台風が襲来し農作物はもちろんのこと、トタンぶきの倉庫や畜舎が被害を受けた。住宅にあつてはトタンぶきの屋根が全部吹き飛ばされた住宅も三軒あつた。住宅の三軒については、国の法律により支援がなされるとの報道もあつたが、支援内容はどのようなものか。それに対応する村の支援はどのようなにされたか。さらには農家に対する支援はどのような対策が実施されたか伺いたい。

**答** 支援の内容には、基礎支援金(住宅の被害程度)、加算支援金(住宅の再建方法)がある。家族構成や被害状況により査定は変

わりますが、村内の三戸についてはそれぞれ75万円の支給決定通知があつた。村としては被災された3名の方の固定資産税3期・4期分の減免措置を決定。同時に伊江村小災害り災者見舞金も検討している。農家に対する支援としては、沖縄県農業共済組合が事業実施しているさとうきび共済事業、園芸施設共済事業等があり、掛金総額の2分の1を国が、農家負担分2分の1のうち6分の1を村が補助している事業である。

また、県が支援している農業災害対策特別資金利子補給金事業があり、農家の借入資金に対し、利子の補給金を県と村で負担し支援してきた。

## セリ市場飼養棟の防暑対策について

農林水産課長 今後は暑さ対策の改善に向け対応したい

**問** 村の畜産共進会が家畜セリ市場において実施されたが、その日はものすごい猛暑日だつた。飼養棟で牛の手入れをする人ももちろん、牛もばて気味で元気がないような

## パークゴルフ場の整備について

商工観光課長

伊江村青少年旅行村周辺整備基本構想では他の施設との関連から難しい

**問** 高齢者の健康づくりの場として、各区にゲートボール場が整備され、老人のみならずの健康が癒されているが、ゲートボールは団体競技で、不得手な方は遠ざかる傾向にあると聞く。そこでパークゴルフ場を整備してほしいとの声があがっている。パークゴルフは若男女誰もが楽しめる上に、用具はスティックとボールだけで手軽に行える。現在進めら

れている旅行村野球場を中心として運動公園整備計画にパークゴルフ場の整備も加えて整備したらどうかと考えるがいかがか。

## 民俗芸能発表会 に対する助成金の増額について

**答** パークゴルフの公認コースは、18ホールで全長1,000m以下、約12,000m<sup>2</sup>の面積が必要である。平成21年度伊江村青少年旅行村周辺整備基本構想では、他の施設との関連から、新たに加えるのは難しいと考える。

**答** 共進会当日は予想以上の猛暑日で、大型扇風機7台で対応した。しかし、出品牛全頭数への対応が不十分で、畜産農家からも暑さ対策の要望等があつた。今後は暑さ対策の改善に向け対応していきたい。

教育長

5巡目の東江前から追加交付を行う予定で検討していきたい。

**問** 現在の助成額は何度か見直しを行い、組踊をした場合は150万円、端踊りのみで120万円となっている。助成額の見直しの経緯をお伺いしたい。

**答** 組踊の衣装は特別注文となることから高額になり大きな出費となる。その経費は村の補助金と村民から寄せられる浄財や寄附金に頼らざるを得ない。寄附も従前より厳しいことから四苦八苦ししているのが現状である。そこで助成金の増額はできないか伺いたい。

**答** 村から区への助成の経緯だが、1巡目は140万円、2巡目から組踊を実施した場合には100万円、二才踊りだけの場合は70万円、3巡目から現在は組踊を実施した場合150万円、しない場合120万円の補助となっている。発表担当区に財政的負担をかけている現状を踏まえ、今年度中に村の芸能振興基金条例の改正を行い、芸能振興基金を活用した助成額を増額し、5巡目の東江前区から追加交付を行う予定で検討していきたいと考えている。

# 村政の 12月定例会一般質問

## 沖縄振興特別推進交付金 について



政策調整室長 村立診療所人工透析施設整備 工事を実施する予定である

内間 広樹 議員

**問** 沖縄振興に資する事業、自立、戦略的發展に資する事業、沖縄の特殊性に起因する課題解決に向けた事業を実施するための財源として、今年度から創設された交付金だが、伊江村においては3億1千万円の事業費が配布額として計上された。その事業活用として東保育所の改築工事費、人工透析の実施設計費とされ、有効活用されていることは評価するところである。来年度を見据えた沖縄振興特別推進交付金を活用した事業立案はどう計画されて

いるか。  
**答** 来年度の事業計画については、人工透析患者とその家族の精神的、経済的な負担軽減を図るために、本年度に基本・実施設計が完了する村立診療所人工透析施設整備工事を実施する予定であるが、現下の政局の動態や国の厳しい財政状況の中で、沖縄振興特別推進交付金が本年度並みの財源が継続的に確保されるのか、先行き不透明な情勢にあり憂慮している。来年度以降も沖縄振興特別交付金を最大限活用し、

## 堆肥センターの運営について

農林水産課長

堆肥購入の一部助成は現在のところ考えていない

## 問

2期工事が進む中、村民の関心も高まり、堆肥センター稼働に期待する声や不安視する声もある。多額の費用、労力を費やして設立された堆肥センターである。自立運営していくための方策が必要だと思つたが、以下の点についてお伺いしたい。

- ①堆肥購入費について一部助成ができるか。
- ②各生産者団体からの代表者で運営委員会を設立しては

各施策の具現化に向けた取り組みを加速していきたい。  
**問** 産業祭りの村長の挨拶の中で、一括交付金を利用した農林水産物流条件不利性解消事業、離島の不利性を解消するために適用していきたいという話があつた。沖縄型農業共済制度推進事業についても、農業者の経営安定を図っていくために活用していきたいとあつたが、この農業共済、加入率が本土60%なのに

対し、沖縄は20%もない。その辺を支援しリスク回避のための共済加入、促進に一括交付金を活用したらどうか。

**答** 共済制度は災害に遭つた時の最大の補償の一因である。その事業の中でパイプハウス、そういった施設整備については該当しない等制約もある。そういったことを打破し、共済制度を十分理解してもらい、多くの皆さんが共済に加入してもらつよう啓蒙していく。

**答** 去つた6月定例議会に答弁した「店頭で販売している価格等を総合的に勘案し、適正な価格で堆肥が村民に渡るように決定したい」との方針は今も変わっていない。よつて堆肥購入費の一部助成は現在のところ考えていない。

**問** 堆肥センターは村の農業振興を担う重要な施設であり、健全な運営を展開することからも、運営委員会を早急に立ち上げ、各生産団体の代表者の貴重な意見をいただきたい。

3点目、ベレット堆肥は通常の堆肥と比べ軽量であるため散布する際に扱いやすく、強風時

でも効率的に散布できるメリットがある。しかし、ベレット堆肥は完熟堆肥を圧縮した形状であることから、製造プラントを設置しなければならず、機器本体のコストはもちろんだが、設置後のランニングコストも発生する。村としても検討課題として、今後ベレット堆肥を製造した場合に、価格にどの程度影響があるのか試算し、運営委員会に提示していきたい。

**問** 宜野座村の堆肥センターが平成17年度に稼働を始めているが、購入費に対し30%の助成があるという話だつた。堆肥化するまでの経費等を勘案すると与論で1トン1万5千円、少し買いつらい価格かなということではないか。

**答** 県内のデータを十分把握し、運営委員会の中で協議していきたい。

**問** 運営委員会を早急に立ち上げるとの答弁だが、平成25年4月の運用開始、いつ頃委員会を開く予定か。

**答** 運営委員会の立ち上げについては、極力年内に各生産団体に呼び掛けて年内で設置したい。